

社協だより

ONAGAWA



上三区では月1回開催しているお茶会のなかでクリスマスも近いこともあり、同区内にある認知症対応型デイサービス『ふらっと おながわ』の利用者さんを招き、歌や踊りなどの催し物を披露しました。

上三区と『ふらっと おながわ』は、生活支援体制整備事業第1層協議体をきっかけに、これまでつながりを持ち、住民の方々にとっても、認知症を理解するきっかけにもなっています。

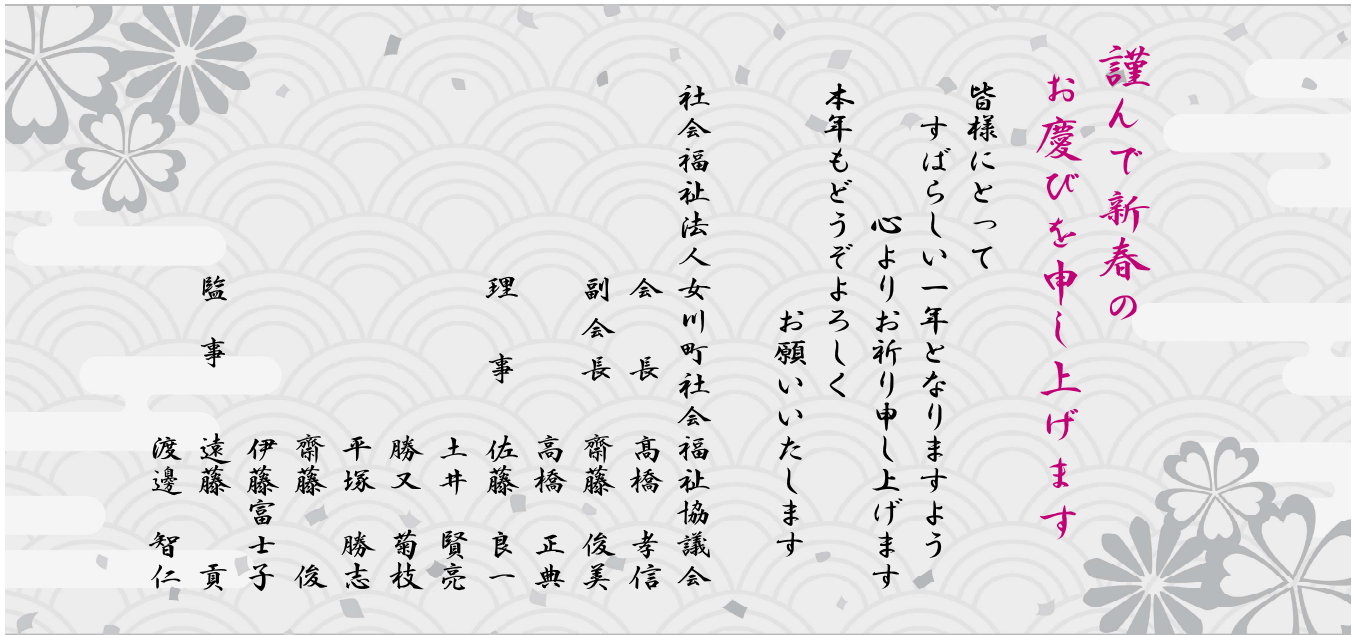
また、地区の住民さんのなかにも『ふらっと おながわ』を利用されている方もおり、上三区にとっても地域の身近な社会資源でもあります。



今回は、新型コロナウイルス感染症の予防対策の観点から会食などは控えての実施となりましたが、利用者の皆さんは、喜びの笑みを浮かべ、賑わいのひと時となりました。

2

FEBRUARY.2022



永年の功績を称えて

11月11日、第67回宮城県社会福祉大会が開催され、永年にわたり社会福祉の発展にご尽力頂いた方々が表彰されました。

昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響により規模を大幅に縮小し、代表受賞者のみが出席した開催となり、本町から代表受賞者として女川町身体障害者福祉協会会長阿部俊也氏が出席いたしました。

なお、本町で受賞された方々をご紹介します。（敬称略）



褒状を授与された阿部俊也会長

宮城県知事表彰

褒状

- ◇社会福祉事業従事者
平塚 としえ
- ◇民間社会福祉団体関係者
阿部 俊也

宮城県共同募金会会長表彰

表彰状

- ◇募金活動奉仕功労者
阿部 義一 木村 初雄 石森 孝之
木村 尚 石森 洋一 小山 盛雄
酒井 實 鈴木 浩 山形 守夫
須田 菊男 鈴木 文夫 木村 功

感謝状

- ◇募金活動奉仕功労者
木村 幸良
佐竹 忠

宮城県社会福祉協議会会長表彰

表彰状

- ◇社会福祉協議会役職員功労者
千葉 信二 鈴木 康太郎

感謝状

- ◇篤志寄附
株式会社 ブリッジ

**受賞者の皆様、
誠にありがとうございました。**

赤い羽根共同募金 「車両を贈呈いただきました」

この度、社会福祉法人宮城県共同募金会が実施する東日本大震災で被災した沿岸部の市町社会福祉協議会を対象とした車両の助成事業で、本会も車両を贈呈いただきました。



贈呈いただいたトヨタシエンタ

令和3年11月19日にネットヨタ仙台日の出店で行われた贈呈式では、本会高橋会長が出席し、本会を含めた県内4市町の社会福祉協議会が車両の贈呈を受けました。

皆さんからの募金により贈呈いただいたこの車両は、よりよい地域をつくるための地域福祉活動で活用させていただきます。誠にありがとうございました。



『救急医療情報キット』を備えていますか？

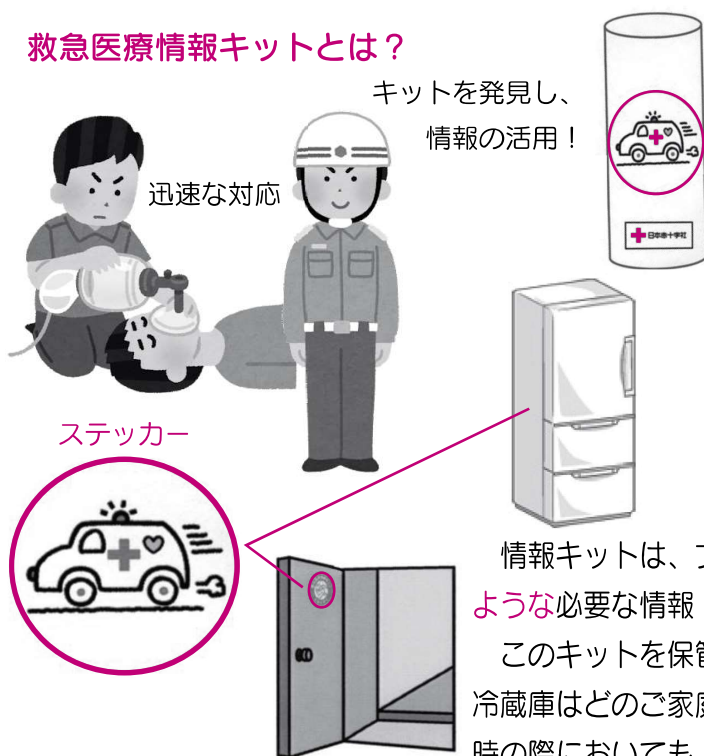


例えば、一人暮らし・二人暮らし高齢者、障害をお持ちの方が、急病で倒れてしまった場合、救急車を呼ぶことはできたとしても、救急隊に持病や血液型、また、どんな薬を日頃飲んでいるのか、緊急連絡先等々の情報を救急隊員に確実に伝えるのは困難な場合があります。

そのような際に、備えるために作られたのが「**救急医療情報キット**」(以下**情報キット**)です。本会では、町内で対象となる方のうち希望される方に無料でこの情報キットを配布しております。



救急医療情報キットとは？



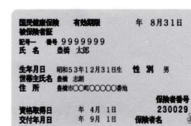
①あんしんカード



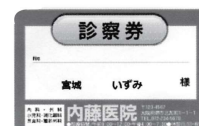
②お薬の処方箋



③健康保険証



④診察券



情報キットは、プラスチックの筒状のもので、その中には、**上記のような必要な情報**（コピー可）を入れます。

このキットを保管する場所は**冷蔵庫の中**が一番推奨されています。冷蔵庫はどのご家庭にもあって台所にあります。そして、地震や火災時の際においても、ある程度の強度が保たれるという理由からです。

情報キットが備えてあるということを知らせるために同封されているステッカーを玄関に貼ります。

(防犯上、玄関の内側に貼ることをおすすめします。)

配布対象

無料配布の対象となるのは、①65歳以上の一人暮らしの方、②65歳以上の二人暮らしの方、③障がいをお持ちの方【身体（身体障害者手帳：1級・2級）、知的（療育手帳A・B）、精神（精神保健福祉手帳1級）】となります。対象とならない方でも、ご希望の方は本会までお問合せ下さい。

情報の更新をお願いします！ 情報キットを有効に活用いただくためには、ケースの中に入れるあんしんカードの記載内容や処方箋はなるべく直近の情報である必要があります。お薬や病院が変わった場合は、あんしんカードの内容や中身を差し替える必要があります。記入については、本会でお手伝いもさせていただきますので、お気軽にお声がけください。（あんしんカードは本会にあります）

【お申込み・お問合せ】本会へ直接お申込みいただくか、地域の担当民生委員さんへお声がけください。

問合せ・申込先 女川町社会福祉協議会 TEL：0225-53-4333

生活支援コーディネーターの『いいものみ〜つけ!』

No.17



みなさん

生活支援体制整備事業「生活支援コーディネーター・協議体」

覚えていただけましたか?!

生活支援体制整備事業とは、平成26年の介護保険法改正の際に創設され、市町村が中心となり生活支援サービスを担う多様な事業主体や地域住民と連携しながら、日常生活上の支援体制の充実・強化および高齢者の社会参加推進を一体的に図っていくことを目的としており、「生活支援コーディネーター」の配置や「協議体」を実施しながら、地域で安心して暮らし続けられるための地域を目指す取り組みです。

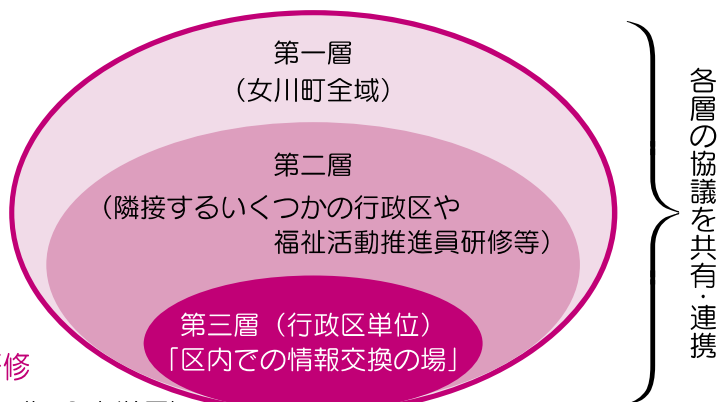
令和3年度

女川町生活支援体制整備事業 第1層・第2層・第3層協議体の開催経過報告

【第1層協議体】 9月29日（水）テーマ「在宅高齢者等見守りに係る『関わり方』について」

行政区内で見守り活動を行っている「上3区・大原北区」の事例発表と地域課題を事業所側と地域との連携について協議を行いました。

女川町協議体の階層図



【第2層協議体】

福祉活動推進員研修

- 4月22日（木）東エリア（旧2小学区）
- 4月28日（水）西エリア（旧1小学区）
テーマ「ひとりの福祉活動推進員として自分は何のアンテナを立てますか」
それぞれが目標を立てグループワークにて地域の情報交換を実施。
- 12月20日（月）
4月に参加していただいた11地区を参集
⇒11～12月にかけて事前に第3層協議体で情報交換した地域情報をコーディネーターが発表し、他地区の情報を知る機会・共有の時間としました。

【第3層協議体】

- 西区・清水区では福祉活動推進員の情報交換会から地区内での防災講座へとつながりました。
- 12月20日に行われた第2層協議体福祉活動推進員研修に向け、東エリア5地区（女川南・大原北・大原南・清水・宮ヶ崎）、西エリア6地区（大沢・旭が丘・浦宿2・浦宿3・上1・上3）で自分の目標の評価、地域の様子・変化、地域の福祉活動推進員としての共通目標をたて、共有を図りました。

2022年の生活支援体制整備事業は

今後も、地域課題をみなさんと一緒に考え協議する『場』をつくり、誰にとっても女川町が暮らしやすい町となるような地域づくりに皆さんと共に取り組んでいきます。





11行政区で『第3層協議体』となる**福祉活動推進員情報交換会**開催



意見のなかには、「活動を継続することにより日常生活の中に様々な気づき生まれ、地域の小さな変化もいち早くキャッチでき、「あれ?」と感じた際には区長・民生委員、生活支援コーディネーターと情報を共有できるようつながりや関係性も出来てきている」との頼もしい意見も出されました。

次回はほかの地区でも予定しておりますので、ご協力お願いいたします。

今年度4月に開催した第2層協議体「福祉活動推進員研修」で、「ひとりの福祉活動推進員として、自分は何のアンテナを立てますか。」をテーマに福祉活動推進員としての目標を立てていただきました。それから数カ月が経過し、その振り返りや地域の様子（変化や気づいたこと）、地域の福祉活動推進員として、活動するうえでの目標について考えながら意見交換・情報共有を行いました。



第2回女川町生活支援体制整備事業 **第2層協議体福祉活動推進員研修開催!!**



12月20日(月)女川町まちなか交流館大ホールで行われた福祉活動推進員研修には31名の福祉活動推進員にお集まり頂きました。

西・東エリア担当生活支援コーディネーターが、地域で行った第3層協議体となる福祉活動推進員情報交換会で出された情報や意見を報告し、参加した福祉活動推進員はほかの地区の情報も共有することが出来ました。

今回の研修では、自分の住む地域でのあいさつ・声かけ・見守り等に対して、皆さんの意識の向上が伺えた研修となりました。

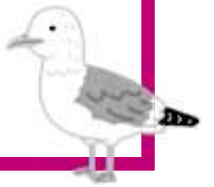
また、地域の福祉活動推進員として目標を設定し、地域と一緒に考え・取り組みたいという前向きな意見も多かったです。

今後も一緒に考え共に取り組んでいきましょう。





うみねこ園だより



2021年秋の思い出・後編

前号では、10月までの秋の思い出をご紹介させていただきましたが、今号では11月以降の思い出をいくつか。

うふっ、りんご🍏と大根🥕

11月9日は一昨年コロナ禍により参加を見合わせた女川原子力PRセンターさんでのつばくろ会のみなさんとの「りんご狩り」…となるはずでしたが、あいにくの雨ということで今年は中止に。それでも、PRセンターの方々が、りんごと大根を収穫し届けてくださるというご配慮に、中止になってしまった残念さも吹き飛んだ様子利用者さんたちでした。女川原子力PRセンターのみなさん、ありがとうございました。



全力出しきってやったぜい!



秋、最後のイベントは毎年大いに盛り上がる「ミニ運動会」。以前のような保護者のみなさんとの対抗戦ではなく、昨年と同様にうみねこ園を2チームに分けての対抗戦となりました。

「障害物競走」に「パン食い競争」、「玉入れ」、「仮装競争」など様々な競技でしのぎを削ったあと、最後は敵味方関係なく「パプリカ」でダンス。表彰式で見ることができた満足気で且つ誇らしげな表情は、力を尽くしきったのを物語っているように思えました。

終了後はみなさんお待ちかねの昼食の時間。今年も保護者のみなさんから提供していただいた食事に舌鼓を打った利用者さんたちでした。

2021年クリスマスの思い出

うみねこ園のクリスマスといえば、イオンスーパーセンター石巻東店さんのスタッフの皆さんと一緒に、ご提供いただく昼食を囲みながらのパーティが恒例でしたが、コロナ禍が続き昨年とそして今年もそれは叶いませんでした。しかし、24日の「クリスマス会」には、昨年同様に助六弁当にオードブル、クリスマスケーキ、そしてクリスマスプレゼントを届けていただきました。



いただいた昼食を囲みながらのビンゴ大会やダンスタイムなど、利用者さんたちにとって楽しいクリスマス会になったようです。

イオンスーパーセンター石巻東店さんのいつも変わらぬご厚意に感謝です。



そして、クリスマス会前の16日に行われた「ハンドベル部の発表会」。うみねこ園には、実は全員が所属するハンドベル部が存在していることをご存知でしょうか。

2021年4月の発足後から定期的に練習を重ねてきました。そして、いよいよその成果をお見せる時がやってきたのです。観客は保護者のみなさん。4月にハンドベル部の活動がスタートしたことを知った保護者の方々から、是非とも聴いてみたいとの声が寄せられていたこともあって今回の開催に至りました。

演奏曲は、「きよしこの夜」、「きらきら星」の2曲。演奏では、気合入り過ぎの利用者さんや緊張気味の利用者さんなどなど様々でしたが、演奏終了後には大きな拍手が送られていました。今後は、より多くの曲の演奏を披露できるよう練習をがんばっていきましょう!

そんなクリスマスの一連のイベントを一層盛り上げてくれたのが、今年もうみねこ園内に設置されたモミの木のクリスマスツリーです。大沢区の阿部喜己男さんに提供していただいたモミの木を使って、浦宿一区の平塚文通さん、知己さんの叔父である阿部福一さんが設置してくれました。ツリーのイルミネーションに照らされて過ごしたクリスマスシーズン。今年も素敵なクリスマスとなったのではないのでしょうか。



～女川町ひとり親家庭福祉会からのお知らせ～

制服回収ポストを設置します

女川町ひとり親家庭福祉会（以下、本会）では、この度、新たな取り組みとして、『学生服リユースショップさくらや仙台店（以下、さくらや仙台店）』のご協力のもと、女川町地域福祉センター1階エントランスに制服回収ポストを設置しました。

制服回収ポストとは、ご家庭で着ることのなくなった制服を入れていただくためのボックスです。

皆様のご自宅に眠っている制服及び、お子さまの卒業後の制服について処分を検討されている場合は、是非本会までお持ちください。

なお、ご不明点などございましたら、下記までお問合せ下さい。ご協力よろしくお願いたします。

- ・ **制服回収期間** 令和4年1月13日～令和4年6月30日
- ・ **回収場所** 女川町地域福祉センター1階エントランス
(女川町地域医療センター向かい)
宮城県牡鹿郡女川町鷺神浜字堀切山107-17
- ・ **回収方法** 卒業などにより、着なくなった制服などを制服回収ポストに直接入れてください。



投入可能なもの

宮城県内の幼稚園（町内保育所）から高校までの卒業後5年以内の制服（ワイシャツ・ブラウス含む）及び体操着



投入いただけないもの

- ・ かばん、靴、柔道や剣道着は不可
- ・ デザインの変わった旧型のもの
- ・ 破損の大きいものやリメイクされたもの
- ・ カビや虫食いのあるもの
- ・ 学校制服以外の市販の洋服など

制服回収ポストの仕組み

1. 卒業やサイズアップなどにより着なくなった制服や体操着を制服回収ポストへ投入いただきます。
2. 本会事務局が制服回収ポストに投入いただいた制服を確認し、制服が必要な本町のひとり親家庭及び生活困窮のご家庭へ無償提供いたします。
3. 本町のご家庭へ提供不可能な制服などに関しては、さくらや仙台店に回収いただき、査定を行います。
4. 査定した金額分をさくらや仙台店が「子供の未来応援基金」へ寄付します。
また、さくらや仙台店に回収された制服などのうち、まだ使用できるものはリユース品として販売またはバザーなどへ提供されます。
状態が悪くなっている制服などは、学校名やネームを外し「古着deワクチン」に送られます。

回収した制服及び体操着 活用のススメ

上記回収ボックスで回収した制服及び体操着を必要な方に譲渡させていただきます。

譲渡期間は**令和4年2月15日から**とします。制服などの譲渡を希望される方は、

- ①必要とする制服の種類（制服・体操着・ワイシャツ・ブラウスなど）及び学校名、
- ②性別、③サイズ、④ご連絡先 を本会事務局担当まで電話もしくはメールでお知らせください。

制服回収ポストに希望の制服などが投入された場合にのみご連絡いたします。

なお、譲渡前の制服などのクリーニングについては対応し兼ねますのでご了承ください。

【問合せ先】女川町ひとり親家庭福祉会（女川町社会福祉協議会内）担当：酒井・久保

TEL 0225-53-4333 mail : tsubakiya4@shakyo-onagawa.or.jp

皆様の善意に感謝申し上げます。

皆様から頂く寄附金は、広報紙の発行や小中学校で行う福祉学習、ボランティアセンター事業や生活困窮者への支援などに充当させていただいております。

今後とも、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

寄附金 (敬称略) 【令和3年11月1日～令和4年1月15日受付分】

行政区	氏名	金額
上三	佐藤佳樹	40,000円
東京都	(株)F-SUNツーリストジャパン	10,000円
大沢	大沢安住実業団	10,000円

よりよい地域をつくるために

誰しもが、生活者として暮らす地域がこうあって欲しい! もっとこんな地域にしたい! という思いはあることでしょう。皆さまが地域住民として、それぞれ役割を持ちながらよりよい地域をつくりあげていくために、皆さまからいただく会費を活用させていただいています。

賛助会員 (敬称略) 【11月1日～12月31日受付分】

行政区	氏名
石浜	佐々木祐子

女川町社協では臨時職員を募集いたします!

募集職種: (1) 事務補助員 1名 (2) 生活支援コーディネーター 1名

勤務先: 女川町社会福祉協議会

業務内容: (1) 女川町社会福祉協議会における事務補助の業務

(2) 地域を訪問し、地域課題の把握や様々な情報発信を行うコーディネーター業務

雇用形態: 臨時職員

雇用期間: 令和4年4月1日～令和5年3月31日

契約更新の可能性: あり (条件付きで更新あり)

勤務日及び勤務時間: 月曜日～金曜日 8:30～17:30

賃金: 当法人臨時職員等就業規則による。月額 144,100円

賞与: 年2回

その他: 労災保険・雇用保険・健康保険・厚生年金

応募資格: 普通自動車免許 (AT限定可)、パソコン操作 (ワード、エクセル) 出来る方
年齢は不問

応募方法: 履歴書、職務経歴書、ハローワークからの紹介状を郵送または持参のうえ提出してください。

提出期日: 令和4年2月10日 (木) まで

選考方法: 書類選考を経て面接試験を行います。

【問合せ・提出先】 〒986-2243 女川町鷲神浜字堀切山107-17

女川町社会福祉協議会事務局 TEL:0225-53-4333

私たちと一緒に
働きませんか?



生活福祉資金・特例貸付の申請受付期間が延長されました

申請受付期間: 令和4年3月末まで延長

新型コロナウイルスの影響により、生活に困窮している世帯を対象に貸付を行っています。

【緊急小口資金】

対象: 新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯

【総合支援資金】

対象: 新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯

※各資金の条件・貸付額・必要事項等の詳細については下記までお問合せ下さい。

問合せ先: 女川町社会福祉協議会 (地域福祉センター内) TEL: 0225-53-4333

